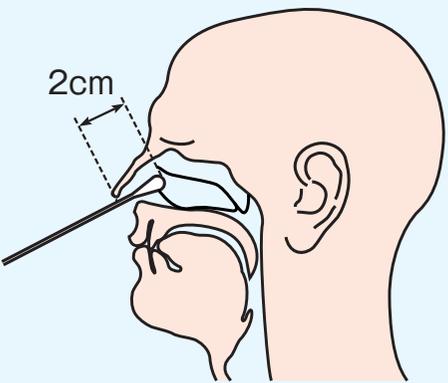


ラピッドテスト SARS-CoV-2 検体採取方法(鼻腔ぬぐい液の自己採取)

▼ラピッドテスト SARS-CoV-2に使用する検体は以下の方法で採取してください。

鼻腔ぬぐい液



鼻孔（鼻の穴の入り口）から2cm程度、付属の綿棒を挿入し、鼻の内壁に沿わせて5回程度回転させます。5秒程度静置し、引き抜いた後、綿棒が十分に湿っていることを確認します。



綿棒を検体希釈液に入れ、回すようにして検体を抽出します (①)。

綿球をチューブの上から指で挟み、綿球内の検体をよく搾り出します (②)。

検体希釈液



検体抽出後、検体濾過フィルターを装着します。



テストデバイスの試料滴下部に試料を3滴滴下します。

| 区分 | 取扱い方法 |
|------|--|
| 保管方法 | 室温(2~30℃) ※高温多湿、直射日光を避けて保管してください。冷蔵庫に保管した際には室温に戻してから使用してください。 |
| 廃棄方法 | ご家庭等で使用したキット(綿棒、チューブ等を含む)を廃棄するときは、ゴミ袋に入れて、しっかり縛って封をする、ゴミ袋の外面に触れた場合や袋が破れている場合は二重にゴミ袋に入れる等、散乱しないように気を付けてください。 参考: 新型コロナウイルスなどの感染症対策としてのご家庭でのマスク等の捨て方(リーフレット) http://www.env.go.jp/recycle/waste/sp_contr/infection/leaflet-katei.pdf |

テストデバイスのアルミ袋及び検体希釈液は使用時まで開封しないでください。アルミ袋開封後は30分以内に使用してください。

※測定時には適切な防護具(手袋等)を装着してください。

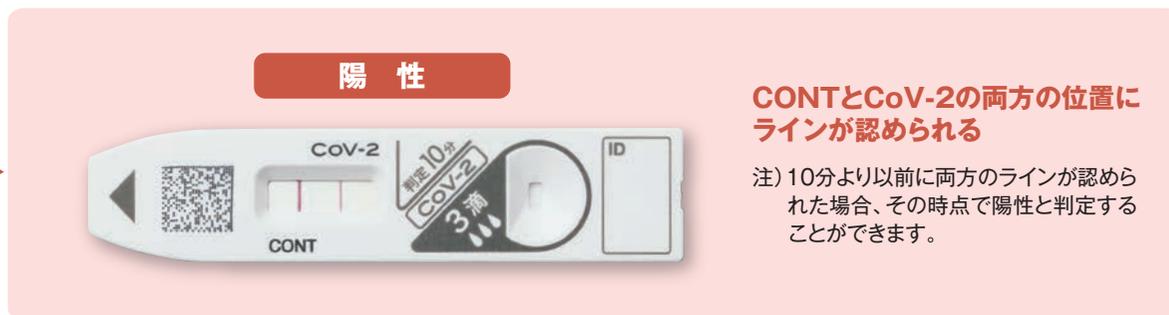
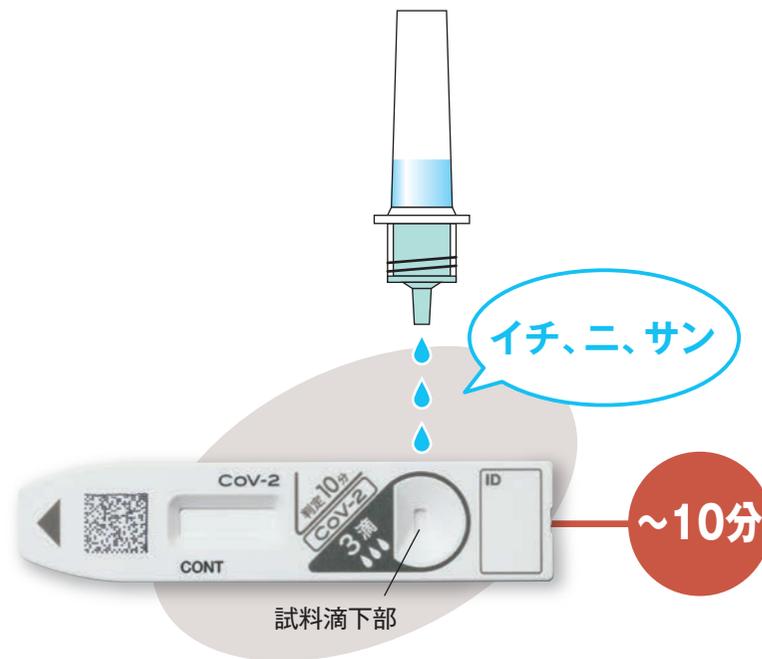
※同居人等がいる場合は、被験者は、他者と向き合わない方向を向くか、他者とガラス等により隔てられた位置に移動して実施します。

※他者による検体採取は感染等のリスクを伴う可能性があり、また、鼻咽頭(鼻の奥)ぬぐい液の自己採取は危険かつ困難であるため、鼻腔ぬぐい液の自己採取によって行います。

キットご使用の際には添付文書をよくお読みください。測定結果に基づく臨床診断は、臨床症状や他の検査結果などと合わせて担当医師が総合的に判断してください。

ラピッドテスト SARS-CoV-2

操作方法と判定法



【注意事項】

1. ノズルの先がデバイスに触れないように滴下してください。
2. 試料滴下後は動かさず静置ください。
3. フィルターが目詰まりした場合には無理に滴下しようとせず、検体を採取し直してください。

【重要な基本的注意】

1. 本品の判定が陰性であっても、SARS-CoV-2感染を否定するものではありません。
2. 検査に用いる検体については、厚生労働省より公表されている「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 病原体検査の指針」を参照してください。
3. 診断は厚生労働省より発表されている医療機関・検査機関向けの最新情報を参照し、本製品による検査結果のみで行わず、臨床症状も含めて総合的に判断してください。
4. 検体採取及び取扱いについては、必要なバイオハザード対策を講じてください。